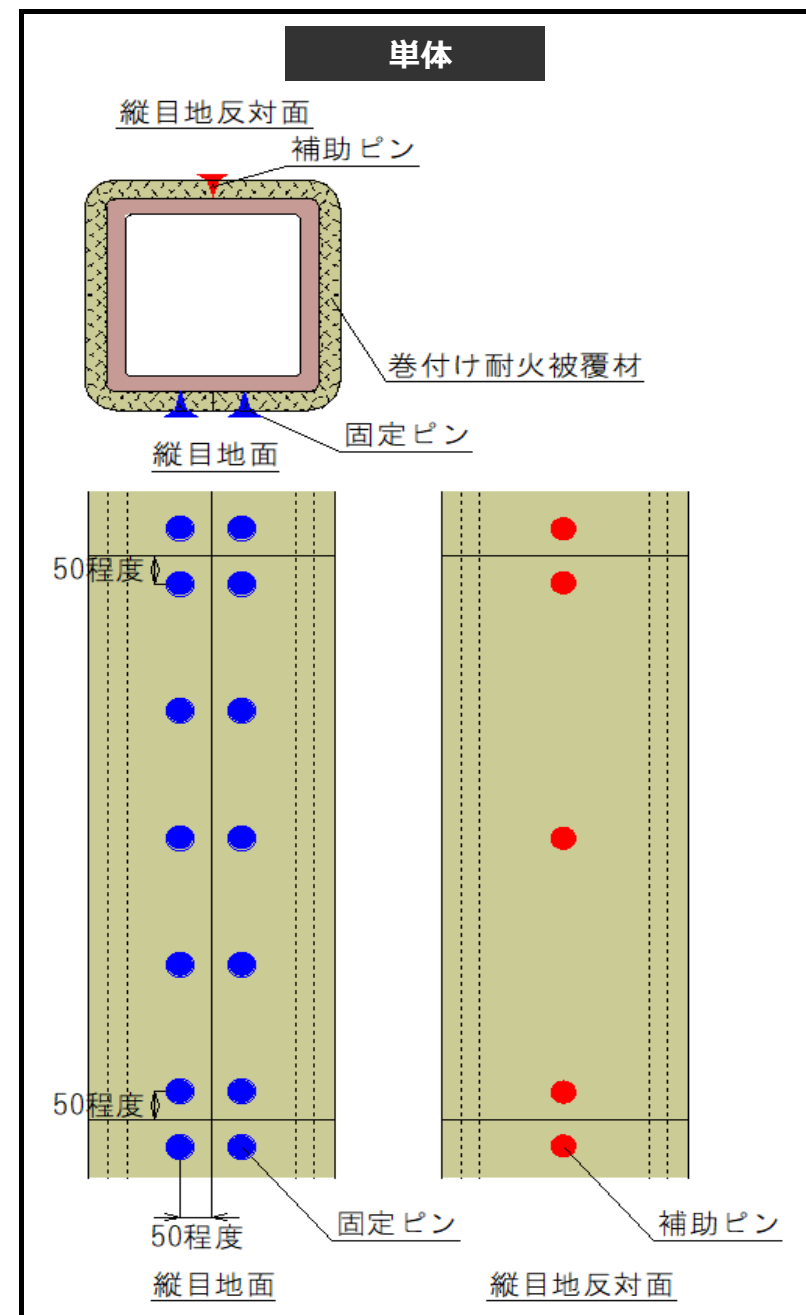


作業者用

巻付け耐火被覆材 標準施工仕様一覧表

角柱、丸柱、H柱、CFT柱（単体構造）

標準施工仕様一覧表は、ニチアス㈱が取得した耐火認定を基に作成したもので、「マキベエ®」と「ロックカバー®」に適用するものです。



耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	留付本数		認定番号
			縦目地面	*縦目地 反対面	
1	20	□-150×150×9 φ191×9	5本	-	FP060CN-0406-1
	40	□-75×75×6 φ96×6	5本	-	FP060CN-0922
2	40	□-300×300×12 φ382×12	5本	-	FP120CN-0157-1
	65	□-150×150×9 φ191×9	5本	-	FP120CN-0407-1
3	65	□-300×300×16 φ382×16	5本	-	FP180CN-0408-1

耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	留付本数		認定番号
			縦目地面	*縦目地 反対面	
1	20	H-300×300×10×15	5本	-	FP060CN-0005-1
	40	H-125×125×6.5×9	5本	-	FP060CN-0504-1
		H-198×99×4.5×7	5本	-	FP060CN-0921
2	40	H-300×300×10×15	5本	-	FP120CN-0007-1

耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	留付本数		認定番号
			縦目地面	*縦目地 反対面	
2	20	□-450×450×16 φ450×16	5本	-	FP120CN-0776-2
3	40	□-450×450×12 φ450×12	5本	-	FP180CN-0285-3

共通適用事項	<ul style="list-style-type: none"> 鉄骨寸法：記載寸法以上 *巻付け方向の留め付け間隔が1,950mmを超える場合は、認定上補助ピンが必要です。□柱や○柱では□-450×450以上、○-φ450以上が目安となります。 	共通適用事項 (CFT柱は除く)	<ul style="list-style-type: none"> 新認定では鉄骨寸法が記載寸法以上である他に幅厚比を確認する必要があります。幅厚比とは局部座屈に対する抵抗性を表す値で、幅厚比が大きいほど局部座屈が生じやすくなります。 使用する鋼材の幅厚比が、対象の鋼材F値(基準強度)に対するFC値(幅厚比)より小さいことが必要。 使用する鋼材の幅厚比が、耐火認定書に記載の部材幅と部材厚さの関係表を満足することが必要。 大きさに対して厚さが薄い鋼材を使用する場合は、別冊に掲載している適合判定ソフトに従い使用できる耐火認定を確認してください。
---------------	---	-------------------------	--

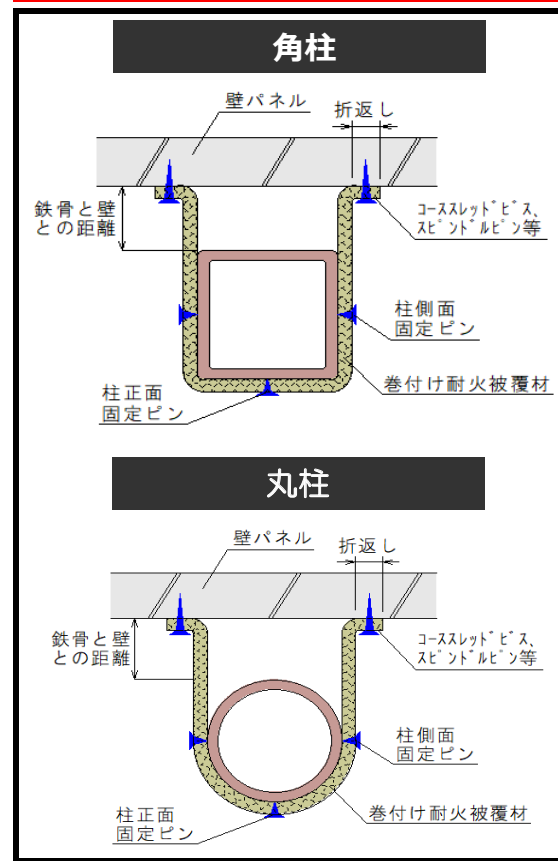
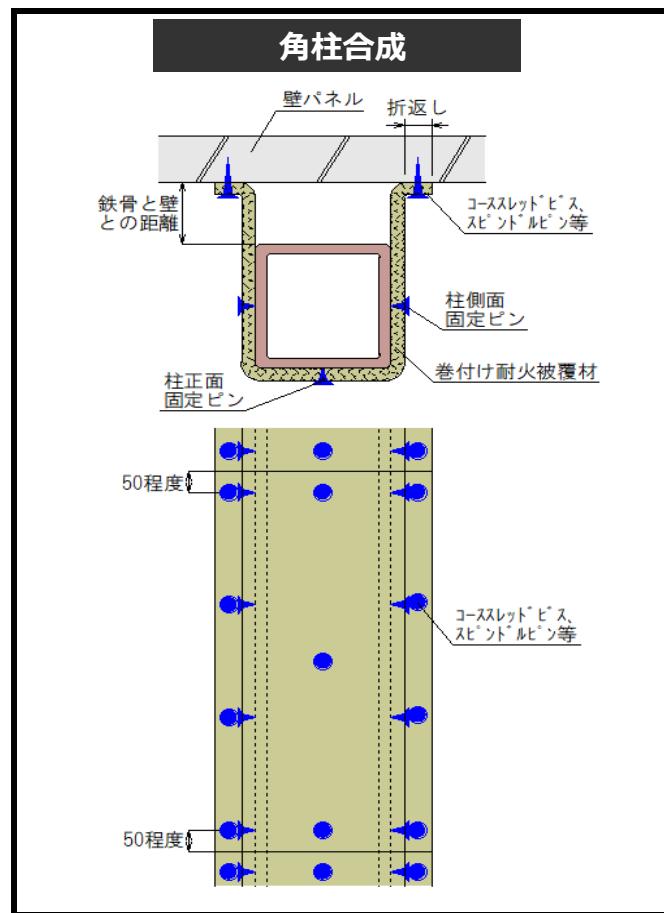
注) この標準施工仕様一覧表は、耐火時間ごとに適用する耐火認定番号、鉄骨寸法、被覆厚さ、一般的な固定ピン、補助ピンのピッチを表したものです。
施工品質をより高めるために耐火認定に比べ、固定ピンの本数を一部増やした仕様になっています。

作業用

巻付け耐火被覆材 標準施工仕様一覧表

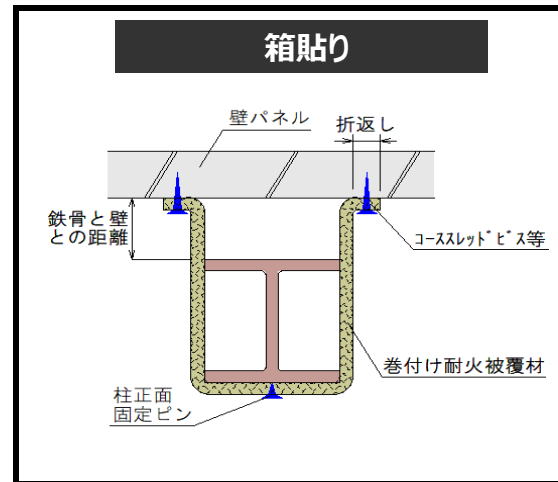
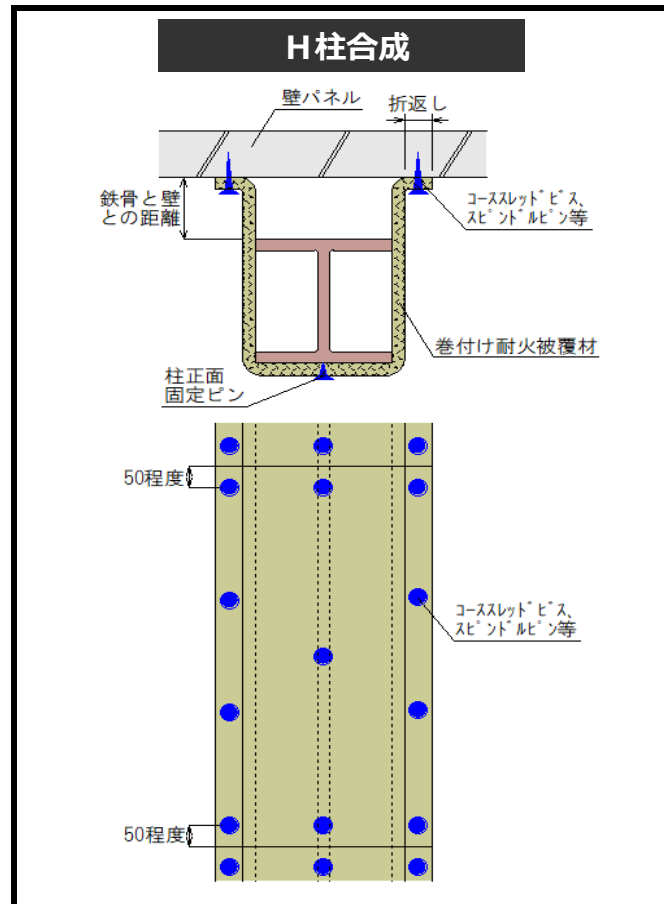
標準施工仕様一覧表は、ニチアス㈱が取得した耐火認定を基に作成したもので、「マキハ工®」と「ロックカバー®」に適用するものです。

角柱、丸柱 (合成構造)



ALC合成 □○柱	PC合成 □○柱	耐火 時間	被覆 厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	柱留付本数		壁への留付		鉄骨と壁と の距離 (mm)	壁 厚さ (mm)	認定番号
					柱正面	柱側面	折返し (mm)	留付 本数			
○		1	20	□-300×300×9 φ382×9	3本	-	50	4本	250	75	FP060CN-0160-1
	○			□-300×300×9 φ382×9	-	4本	50	4本	75	100	FP060CN-0146-1
○			□-150×150×6 φ191×6	3本	-	50	4本	100	75	FP060CN-0175-1	
○	○		□-75×75×6 φ96×6	3本	-	50	4本	250	75	FP060CN-0934	
○	○	2	40	□-300×300×16 φ382×16	3本	-	50	4本	450	100	FP120CN-0506-1
	○			□-300×300×12 φ382×12	-	4本	50	4本	100	100	FP120CN-0151-1

H柱 (合成構造)



ALC合成 H柱	PC合成 H柱	耐火 時間	被覆 厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	柱留付本数		壁への留付		鉄骨と壁と の距離 (mm)	壁 厚さ (mm)	認定番号
					柱正面	柱側面	折返し (mm)	留付 本数			
○		1	20	H-300×300×10×15	3本	-	50	4本	150	75	FP060CN-0029-1
○	○			H-125×125×6.5×9	3本	-	50	4本	250	75	FP060CN-0505-1
○	○		H-198×99×4.5×7	3本	-	50	4本	250	75	FP060CN-0933	

共通適用事項

- ・鉄骨寸法：記載寸法以上 ・壁面への折返し長さ：記載寸法以上 ・鉄骨と壁との距離：記載寸法以下 ・壁厚さ：記載寸法以上
- ・新認定では鉄骨寸法が記載寸法以上である他に幅厚比を確認する必要があります。幅厚比とは局部座屈に対する抵抗性を表す値で、幅厚比が大きいほど局部座屈が生じやすくなります。
使用する鋼材の幅厚比が、対象の鋼材F値(基準強度)に対するFC値(幅厚比)より小さいことが必要。
使用する鋼材の幅厚比が、耐火認定書に記載の部材幅と部材厚さの関係表を満足することが必要。
- 大きさに対して厚さが薄い鋼材を使用する場合は、別冊に掲載している適合判定ソフトに従い使用できる耐火認定を確認してください。
- ・巻付け方向の留め付け間隔が1,950mmを超える場合は、認定上補助ピンが必要です。□-450×450以上、○-φ450以上が目安となります。

注) この標準施工仕様一覧表は、耐火時間ごとに適用する耐火認定番号、鉄骨寸法、被覆厚さ、一般的な固定ピン、補助ピンのピッチおよび鉄骨と壁との間隔等を表したものです。

施工品質をより高めるために耐火認定に比べ、固定ピンの本数を一部増やした仕様になっています。 ECP、サンドイッチパネル等の合成認定は外壁メーカーの認定仕様にしたがって施工してください。